



# のうだい つうしん

2011. Mar. No.31

発行 岩手県立農業大学校父母の会  
編集 岩手県立農業大学校  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp2581/>

## 旅立つ諸君へ！

岩手県立農業大学校長 川嶋 明澄



本校の課程を修了し社会に旅立つ本科51名、研究科4名の諸君、卒業おめでとう！  
また、これまで学生諸君を支えてこられたご家族の皆様方におかれましても、晴れの門出の日を迎えられ心からお祝い申し上げます。

今年度の本校卒業生は、就農6名、進学3名のほか、厳しい経済情勢の中での就職は、農業法人10名、農協等が9名、農業関連企業14名など農業関係の職場への就職が決定しているところであります。

4月からはそれぞれの道を歩み始めるわけですが、特に、4月から農業に従事する皆さんは、地域の農業・農村を支えるという気概をもち、腕を磨き、見聞を広め、柔軟な発想で新たな農業の創造に立ち向かっていただくことを期待するところであります。

また、農業団体や農業関連企業等に進む皆さんは、農業・活性化のためのコーディネーターやサポーターとして、それぞれの分野で農業大学校出身という自信と誇りを持って活躍していただけるものと思っております。

地域の農業・農村は、これまで活躍されてきた昭和一桁世代のリタイヤが進む一方で、農業従事者の中で

65歳以上の占める割合が6割以上と高齢化が進行している状況にあって、農業・農村の担い手の確保が喫緊の課題となっているところであります。

このような状況下で、若い力がみなぎる諸君に対する期待は高いことを肝に銘じ、社会人として日々充実した毎日を過ごしてください。

諸君が社会に旅立つにあたり、ある農業法人の心得として言葉を送ります。

中途はんばだとぐちがでる。  
いいかげんだと言いわげばかり。  
真剣だと知恵が出る。

最後に、社会に出れば様々な課題に直面することも多いと思いますが、常にものごとに真剣に取り組み、それぞれの立場で自らの役割を果たし、輝かしい未来を築かれんことを祈念し、旅立つ諸君へのはなむけとします。

### 平成22年度 進路の状況

(単位：人)

経営科	人数	就農	進 学				研修	就 職						決定	受験中	
			研究科	大学	その他	計		農業法人	農業団体	関連企業	公務員	実習助手	その他			計
農産	10	1	1			1			1	5				6	8	2
野菜	12	3		1		1	1	3	1	3				7	12	0
果樹	5				1	1		1	1	1		1		4	5	0
花き	11		1			1	2	2	1	3			1	7	10	1
酪農	6	1				0		1	1	1			2	5	6	0
肉畜	7	1				0		1	3	1				5	6	1
小計	51	6	2	1	1	4	3	8	8	14		1	3	34	47	4
研究科	4					0		2	1		1			4	4	0
合計	55	6	2	1	1	4	3	10	9	14	1	1	3	38	51	4
割合		11%				7%	5%							69%	93%	7%

\* 決定は、就農・進学・研修・就職内定の合計。

平成23年3月8日現在

# 卒業研究成果全体発表会

本校教育の柱であり特徴でもある、プロジェクト学習成果を発表する『平成22年度卒業研究成果全体発表会』が1月14日開催され、科別発表会を経て選出された14名と研究科1名がそれぞれの研究成果を発表しました。

発表会には大勢の父母の皆さんも聴講においでになり、本科2年の運営委員によって進められ、日頃からお世話になっている県内農業者をはじめ、県農業研究センター、中央農業改良普及センターなど7名の審査員によって厳正なる審査が行われました。



**【最優秀賞】**  
**コシヒカリ疎植栽培で収益UP！**  
**就農へGO！**

農産園芸学科  
 農産経営科 2年  
 松下弘一

### 1 課題設定の理由

私の地元では近年、「種苗費の削減」とコシヒカリの「倒伏の軽減」を目的とした疎植栽培の面積が増えている。そこで、栽植密度と併せて植付本数を慣行値未満に設定し、慣行区と比較しての種苗費削減、倒伏軽減効果、収量を検証した。今回の試験で、最も収益の得られる栽培方法を検討し、就農した際に役立てたい。

### 2 実施方法

- ・供試品種…コシヒカリ
- ・施肥内容…元肥(新側条2号 N:6kg/10a 5/12)  
 追肥(尿素 N:1kg/10a 7/15)(NKC6号 N:1kg/10a 8/2)

### 3 結果

種苗費は、45+2区で慣行区比-5,327円/10aとなり、29%の削減となった。倒伏は2本植え、疎植で抑えられた。下位節間長は植え付け本数による差は無く、45+2区以外は疎植の方が短くなった。稈基重も植え付け本数による差は無く、45+2区以外は慣行より疎植が重くなった(図1)。収量は45+4区が最も多くなり、屑米重割合は2本植え、疎植で低くなった(図2)。



図1 下位節間長・稈基重と倒伏程度

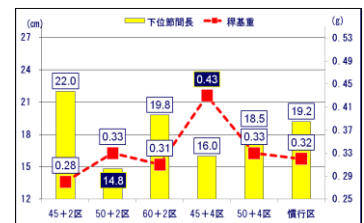


図2 収量と屑米重割合

### 4 考察

種苗費は45+2区で慣行比29%削減できたが、目標の62%削減には至らなかった。これは、機械移植の精度が低く、一株当たりの植付本数にムラがあったためである。疎植により過繁茂が抑制され、稲稈の下部の光合成量が多くなり、下位節間長の短縮と稈基重が重くなったことで、倒伏が軽減された。また、下葉まで光が届き下葉の枯れ上がりが抑制されたことと葉の幅が広がったことで、光合成量が多くなった。その結果、登熟が良くなり、屑米重割合が低下し、m<sup>2</sup>粗数が多かったことから、収量を確保出来た。

就農後は、疎植栽培を導入することで規模拡大を図り、また地域全体でも疎植栽培に取り組んでいきたい。

### 1 課題設定の理由

ハウスマス、害虫が発生しやすく防除の際の化学農薬選定が難しくなっている。そこでIPMシステムを導入し防除の効率化を図る。

### 2 実施方法

#### (1) 試験区の構成

慣行区	害虫が見られた場合、化学農薬のみで防除
IPM区	① 天敵資材による生物的防除 ② シルバー防虫テープによる物理的防除 ③ 天敵資材に影響の少ない化学農薬による化学的防除

- (2) 品種名 穂木：くろべえ、台木：トナシム
- (3) 播種期 台木1月12日、穂木2月16日、接木期3月15日、定植期4月23日

### 3 結果

- (1) IPM区の収量は慣行区対比で約111%となり、粗収益は約20万円の増となった。
- (2) 害虫調査の結果、ハダニ・アザミウマとも慣行区で発生が多く、防除を実施しても密度を抑えることができなかったが、IPM区では常に低い密度が保たれた。

**【優秀賞】**  
**IPMシステムを導入した**  
**ナスの減化学農薬栽培**

農産園芸学科  
 野菜経営科 2年  
 小松瑞穂



(3) 農薬・天敵資材経費は慣行対比で約200%となったが防除作業時間、回数は半減し、労賃を含めた防除経費合計では慣行対比で約190%となった。

### 4 考察

- (1) IPMシステムにより効率的な防除が実現できることが明かとなった。また、害虫被害軽減により増収・増益したことから十分に実用性があると認められた。
- (2) 今回の試験でIPMの効果は確認できたが、栽培条件によって左右されることも考えられる。

最優秀賞に農産経営科の松下弘一君、優秀賞に野菜経営科の小松瑞穂さんと研究科の及川あさみさん、特別賞には果樹経営科の戸井田渉君が選ばれました。

最優秀賞と優秀賞を受賞した3人は、本校代表として東日本農業大学校等プロジェクト発表会（1月20～21日、福島県）に参加し、研究科の及川さんが研究部門優秀賞を受賞しました。及川さんは、全国農業大学校等プロジェクト発表会（2月22～24日、東京都）に東日本ブロック代表として発表しました。

ここでは、本校において最優秀賞と優秀賞、特別表彰を受賞した4課題の発表要旨を紹介します。



**【優秀賞】**  
**オゾン水による健苗育成  
 および 生育促進効果の検討**

研究科  
 及川あさみ

**1 課題の設定理由**

オゾン水は医療や食品分野で利用されているが、農産物生産分野では研究例は少なく、実用化されていない。しかし文献などで、オゾン水には作物の生育を促進する効果が見られることから、作物の生育に対するオゾン水の効果について検討した。

**2 実施方法**

水道水を18ℓタンクに入れ、オゾンガスを15分間曝気(pH7.8、オゾン濃度0.16ppm)し、作成したオゾン水は15分以内に利用。

**3 試験内容**

- (1) 供試材料: キュウリ(南極1号)、ミニトマト(アイコ)
- (2) 試験区: ①オゾン水のみ灌水区、  
 ②オゾン水週1回灌水区、 ③慣行区

**4 結果**

【キュウリ】 オゾン水区は慣行区に比べ草丈が高く茎も太くなり、葉長も長く葉幅も大きかった。オゾン水とオゾン水週1回区は、同じ収量となり慣行区を上回った。A品率はオゾン水区がもっとも高くなった。

【ミニトマト】 茎長は短かったが、茎径はオゾン水区のほうが慣行区よりも太かった。収量はオゾン水区が他の区より多く、2LやLの収量が多かった。

**5 考察**

オゾン水の灌水はキュウリ・ミニトマトともに生育に影響を与え、収量を向上させた。これはオゾン水が持つ殺菌や酸素供給などの効果により、窒素吸収が良好となったためと考えられた。ミニトマトの生育はキュウリほど明瞭な差が見られなかったが、これはミニトマトの場合、窒素吸収量が多いと茎が太くなったりするなど生育が停滞する性質があるためと思われる。

オゾン水の灌水は作物の種類や方法により生育反応が異なり、更なる検討が必要である。

オゾン水を実際に使うためには経費・作業性を考慮し、新たな機器の開発が必要と考えられる。

オゾン水の農業利用については、今後基礎研究や試験の積み重ねとともに実用的な機器の開発が必要であり、大学やメーカーとの連携研究が重要と考えられる。

**1 課題設定の理由**

秋田では「北限のモモ」というブランドがあり、全国で一番収穫が遅いので市場に出回らない時期に売ることができ、価格が高いという有利性がある。

しかし、栽培面積や生産量が少なく、モモの東北の産地である福島県と比べてみても10%にも満たない生産量で北限のモモは全国的には知られていないという現状がある。そこで、北限のモモを有名にしていくために、新しい果実袋の利用による糖度や着色などのモモの果実品質の向上と生産量の安定化を検討する。

また、赤色品種と黄色品種の組み合わせ販売について、消費者ニーズを調査し、組み合わせ販売による差別化で、「北限のモモ」というブランドをさらに広めていく方法を検討する。

**2 実施方法**

【試験1】新果実袋の袋かけ効果

供試品種：川中島白桃・黄金桃

透明な袋…日光を通しやすくした袋製品名「BIKOO」

オリジナル袋…透明な袋の外にタイバックシートを貼り付けた自作の袋

遮光袋…果実を赤く色付けないようにするために光を遮る

慣行の袋…茶色と白の袋が二重になっている一般的な袋

無袋…袋をかけない

【試験2】消費者へのアンケート 9/16 農大産直

目的：消費者の身近な意見を聞く

調査内容：白肉と黄肉の組み合わせ販売価格について

**3 結果**

【試験1】

・試験1では透明袋、オリジナル袋で品質が向上した。その理由は透明な袋の方が他の区よりも日光が多く当たり、糖度

**【特別賞】**

**北限のモモ  
 さらなるブランド化を目指して**

農産園芸学科  
 果樹経営科 2年  
 戸井田渉



や着色が上がったと考えられる。ただし黄色品種の黄金桃は遮光することによりキレイな黄色になるため、遮光袋の方が見栄えが良かった。

・品質を重視するなら透明な袋やオリジナル袋を使うと良いと考えられるが、黄色品種は見た目を重視するには遮光袋を使うと良いと考えられる。

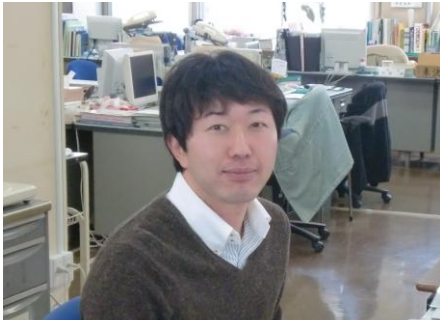
【試験2】

・消費者へのアンケート結果から、赤色・黄色品種の組み合わせは単色で売るよりも高く買うと答える人が多かった。赤色と黄色を組み合わせることによって、高価格で販売できる可能性が認められた。

**4 考察**

2つの試験の結果から、桃の高品質化、消費者ニーズの把握が実現でき、高品質、高価格で販売することが可能になると考えられた。

また、これらのことによって鹿角地域のみならず周辺地域でもモモを栽培する農家が増えていくことが期待される。卒業後は地元の農協に就職するので、この知識を農家の方に提案をして鹿角地域のモモ栽培を活性化させ秋田県の『北限のモモ』というブランドを全国に広めていきたい。



初めて受け持つ学生が君たちで本当に良かった。まとまりも良く、実習などでも責任感を持ってしっかりと行動ができていた。今後、この2年間で学んだ様々な経験を活かし、それぞれの進む道で活躍してくれることを願います。

肉畜経営科 高杉 亘



学生生活で得た経験や知識は、大きな果実のように実っていることと思います。その学びの果実を糧にそれぞれの良いところを大切にしながら大きく飛躍することを期待しています。みんなと一緒に過ごした2年間は私の宝物となりました。ありがとうございます。

果樹経営科 河田 道子



農大での2年間は、勉強はもちろん管理当番や寮生活で大変な事も多かったと思います。これらの活動を通して学んだ事はこれからの人生の糧となる筈です。それぞれの道での今後のご活躍を期待します。

野菜経営科 鴨志田 千恵



研究科の1年はあっという間に過ぎてしまいました。私もこの1年で色々なことを学びました。君たちは農大を卒業し社会人になりますが、常に学び社会人としても大きく飛躍することを期待しています。

研究科 長森 克之

## 卒業生へ 担任から



君たちは若く、これからの人生は希望に満ちている。2年間学んだ「花き」のように、君たちも必ずや人生の花を咲かせるに違いない。これから経験する全てを肥やしにして、それぞれが大輪の花を咲かせてください。

花き経営科 佐藤 弘



卒業おめでとうございます。実習を始め様々なことに2年間取り組んだ成果を、地域社会に貢献出来るように頑張ってください。

農産経営科 工藤 佳徳



及川君、菊地さん、佐藤さん、中川さん、三好さん、吉田君、卒業おめでとうございます。本校の卒業生としての誇りを胸に、社会人として一生懸命頑張ってください。

酪農経営科 梶田 敏彦



### ◆◆◆ 当面の予定 — 4月まで — ◆◆◆

- 4月 6日 始業式 (兼着任式)
- 4月 6日 入学式準備
- 4月 7日 新入生 入寮
- 4月 7日 入学式リハーサル
- 4月 8日 本科・研究科 入学式
- 4月 8日 クラス写真撮影
- 4月 11日 新入生ガイダンス・図書館利用ガイダンス
- 4月 20日 定期健康診断
- 4月 28日 全校ガイダンス①